



PTA宇都宮

第84号

発行／宇都宮市PTA連合会 福田 治久
宇都宮市天神1-1-24 宇都宮市教育センター内
TEL・FAX 632-7856
ホームページ／<http://www.utsunomiyashi-pta.jp>
E-mail／jimukyoku@utsunomiyashi-pta.jp
編集／市P連新聞編集委員会
印刷／(株)松井ピ・テ・オ・印刷

令和3年度定期総会

5月26日、令和三年度定期総会が市文化会館にて開催されました。これまで小ホールだった会場を大ホールに変更し、入場者数を制限するなど感染防止対策を徹底しながら、速やかに執り行われました。

本年度のメインテーマは「心豊かで、たくましく生きる子どもを育てよう」です。宇都宮市PTA連合会の福田治久会長は、宇都宮市のPTA加入率が99・9%という現状をふまえ「新型コロナウイルスが蔓延しているため、全ての活動することは難しく、様々な活動ができなくなっている。しかし、子供たちの明るい未来をつくるために、私たちは最大限のことをしていきたいと思う」と述べました。



議事では、本年度の活動方針案、事業計画案、予算案、及び新役員案など、すべての議案について承認されました。続いて旧役員への感謝状の贈呈、新役員のあいさつのあと、20年間市P連を支えてくれました事務局の萩庭文代さんへ、福田会長より長年のご苦勞に対する謝辞と花束贈呈がありました。閉会となりました。



令和3年度宇都宮市PTA連合会役員

会 長	福田 治久西 小 P
副 会 長	菊地 芳弘陽 東 中 P
	長澤 秀剛 宇大附属中 P
	佐藤 要 豊郷中央小 P
	佐藤 直美旭 中 P
	中村 大介宮の原小 P
	宇梶 浩明桜 小 T
	澤畑 正田 原 中 T
専務理事	稲木 実事 務局
常任理事	林 昌宏 泉が丘中 P
	鮎澤 秀則 瑞穂台小 P
	旭野 好紀 星が丘中 P
	花岡 健太 田原 中 P
	後藤 正洋篠井小 P
	小滝 伸佳 岡本西小 P
	山田 卓也 陽北 中 P
	宇賀神達也 姿川 中 P
	山本 和紀 宝木 中 P
	山本 武志 雀宮中央小 P
Aブロック長	木野本 亮 一条 中 P
Bブロック長	螺良 光孝 瑞穂野中 P
Cブロック長	水上 淳 陽東 中 P
Dブロック長	小川 美行 城山 中 P
Eブロック長	奥島 文香 田原西小 P
	樽井 圭子 緑が丘小 T
	長谷川昌弘 平田中央小 T
	新村 雅司 城山 中 T
監 査	川上 靖恭 豊郷 中 P
	稲見 浩一 旭 中 P
	角田 好弘 宝木 中 T

子どもたちの光り輝く未来のために



宇都宮市PTA連合会 会長 福田 治久

令和3年度も宇都宮市PTA連合会の会長に選任いただきました福田治久と申します。皆様方には本市すべてのPTA活動にご理解ご協力をいただいておりますことを心より厚く御礼申し上げます。

昨年度より、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、社会全体に大きな影響を与えており、学校教育と家庭教育の環境も大きく様変わりをしてしまいました。『終息』

ぬ今、この時代を生きる、愛して止むことのない子どもたちは、戸惑いながらも、たくましく日々成長してくれていきます。

こんな時代だからこそ、4万1千名の愛して止むことがない子どもたちの光り輝く未来のために、時代に合わせ組織の柔軟さも持ち合わせて進化をして参ります。

『千の蔵より子は宝』 子ど

もは何物にもかえ難い宝であり、大切な社会資産でありま
す。人と学校と地域に守り愛
され育てられている子どもた
ちを、今よりも安心安全に、
今よりも多くの愛を注ぎ育て
られる環境を創造し、宮っ子
たちの未来の全てが光り輝く
ものになるよう活動して参る
所存でございます。今後とも
ご理解ご支援をいただけます
よう心よりお願い申し上げます。

市P連広報委員会

委員長 塙 尚恵（姿川中P）

今年度、市P連広報委員会では、
コロナ禍で変化してきたそれぞれ

の学校運営とPTA活動の実態を、アンケートという形で調査することになりました。情報把握および共有することで、宇都宮市の教育の向上に繋がるのではないかと考えたからです。

私の所属する単位PTA【姿川中学校】では、昨年度から新型コロナウイルスの感染状況に合わせた新たな取り組みをしています。本校の活動を二部ご紹介させていただきます。

①学校行事の新たな取り組み



学校行事では、毎年恒例の合唱祭・体育祭のライブ配信を行いました。リアルタイムで観覧するこ

②PTA活動の新たな取り組み

卒業記念DVDの制作をしました。卒業式の様子とともに、先生から生徒へ・生徒から先生に向けての感謝のメッセージを収録し、卒業生や保護者への温かな送り出しができたのではないかと思います。



までのタイムロスの軽減、資源の削減にも繋げることができました。

③研修部研修会での新たな取り組み

研修部主催の研修会をWEB配信で行う予定です。応募方法はGoogleフォームを利用して、パソコン・スマートフォンから簡単に申し込みができるようになっていきます。

先行して執行部にテスト受講をしてもらいました。テーマは「一人ひとりがその人らしく 質問メンタルトレーニング」です。2時間の中でグループワークを行い、相手を確認すること・様々な考えがあつてよいこと・固定観念にとらわれていたこと・枠にはまらなくてよいことなどを学びました。本来は顔を合わせたグループワークで自己肯定感を高めていく講座ですが、受講者からの感想は、生活への変化や解決法の見いだし方などが聞かれ、WEB開催でも効果を期待できるものとなりました。

以上3つの取り組みを紹介させていただきます。

本校のPTA活動方針SDGs『持続可能なPTA活動』と、本年PTA活動方針として掲げた『変化と維持』をもとに、時代に合わせた活動方法を考え実行する。そこから効率化が図れ、資源の削減にも繋がる。今後の持続可能なPTA活動のためにも、このような



くの場合、
有し、より
よいPTA
活動に繋が
ていければ
と考えます。

ひらく★
つながる



生活科の「がっこうたんけん」という学習のことです。1年生が5〜6人の班ごとに、校長室を「たんけん」しにやってきました。

多くの「たんけん隊」の目をひくのは、関係書類が収められている書庫です。

書庫は金庫に見えるので、

子供たちは「金庫には何が入っているのですか？」と尋ねます。私は、「学校の大切なものが入っています。何が入っていると思いますか？」と問い返しました。すると、「校長先生が貯めたお金。」「みんなから集めたお金。」などの回答のあと、ある男の子がにっこり笑ってこう言いました。「決まっているじゃん！宿題の答えが入ってるんだよ！」

また、別の班の女の子はこうつぶやきました。「学校の大切なものって…みんなだよ。」「みんな」とは、「子供たちみんな」を意味しているのです。どきっとしました。関係書類を「学校の大切なもの」などと表現した自分が恥ずかしく感じました。この子はちゃんと分かっているのです。「学校の大切なもの」は、子供たちみんなということを。

子供の言葉は、ずばり本質を捉えていることがよくあります。別の子は、掲げてある歴代校長の写真を見てこう言いました。「え？男ばかりじゃん！」

子供に教えられる日々です。

瑞穗台小学校

校長 皆川美弥子

